

科目名／主任講師名	コース／カテゴリ ／単位数	メディア	概要
がんを知る（16） 田城 孝雄（放送大学教授）、渡邊 清高（帝京大学医学部内科学講座病院教授）	生活と福祉 ／学部／2	OL	国民の2人に1人が一生のうち何らかのがんにかかるという現代において、自分が、家族が、あるいは身近な人が、がんにかかったときに、どうすればよいか。がんという病気、原因、予防や治療の概要について、入り口になるような知識と対応策を得ておくことは、自分だけでなく周りの大切な人を守ることにつながる。がん患者とその家族は、精神的、身体的な不安や痛みに加え、社会とのつながりを失うことに対する不安や仕事と治療の両立が難しいなど社会的苦痛も抱えている。 「がん」の「病気の知識」を得たことでは、「がん」を知ったことにならない。講義ではがんという病気の解説にとどまらず、この疾病がもたらす患者・家族への不安や苦痛、社会学的、公衆衛生学的課題、創薬や医療技術開発、医学研究や医療倫理、医療政策や社会福祉政策としてのアプローチをはじめとする多様な視点から、「がん」について議論したい。医療や介護福祉に関心のある関係者はもちろん、患者・家族の療養支援に関心がある受講生、人文社会学、法学、経済学、経営学、地域政策、リスクコミュニケーション学などに関心のある受講生の学際的なアプローチを期待する。
生活環境情報の表現－GIS入門（20） 川原 靖弘（放送大学准教授） 専門担当講師名：瀬戸 寿一（駒澤大学准教授）	生活と福祉 ／学部／1	OL	近年の生活空間における情報通信技術（ICT）の発展と、通信インフラの整備により、生活者は、場所や時間を選ばず、日常的に情報を享受するだけでなく発信が可能である。このような今日の生活環境で扱う情報の中で、地理空間情報および地理情報システム（GIS）に焦点を当て、その扱い方、表現方法、解析方法の基本的な手法を解説する。 ※本講義で主に利用するQGISに関する基本的な操作は、下記のサイトや資料等で習得することができます。 GIS実習オープン教材： https://gis-oer.github.io/gitbook/book/QGIS_3.4ユーザーガイド ： https://docs.qgis.org/3.4/ja/docs/user_manual/index.html これらの方法について、オンライン授業体験版（ https://online-open.ouj.ac.jp ）の「生活環境情報の表現－GIS入門」のページを参照してください。ソフトウェアのインストールと操作方法については、個別にサポートできない場合があります。
循環器の健康科学（20） 田城 孝雄（放送大学教授） 専門担当講師名：佐藤 真治（帝京大学教授）	生活と福祉 ／学部／1	OL	循環器疾患の病態、症状、治療法に関する講義を行う。また、運動習慣、食事、禁煙などのあるべき生活習慣について講義を行い、生活習慣の改善点について、自分自身を振り返り、行動変容のあり方を、自ら考える。（一般学生、健康・長寿に関心のある学生、介護系の職種）
共生のための技術者倫理（24） 金光 秀和（法政大学教授）	社会と産業 ／学部／2	OL	本講義では、近年の科学技術の動向や社会的関心を踏まえながら、技術者倫理について学際的に考察する。科学技術と人間・社会との共生にとって中心的な役割を果たす技術者を主たる対象として、技術者倫理の必要性、専門家としての仕事のあり方、技術が社会に及ぼす影響力、技術開発や技術使用の倫理的・社会的側面を考察する機会を提供する。また、今日のグローバル社会におけるさまざまな文化圏の技術者の共生も考察する。なお、本講義は技術者に加えて、より良い社会の実現を目指す市民を対象とした教養教育の一助を担うことも企図している。
言語研究法（19） 滝浦 真人（放送大学教授）	人間と文化 ／学部／2	OL	20世紀に確立した近代言語学の基本的な概念と方法を理解し、音声・音韻、文字、形態、文、意味等の領域について、アプローチの基本を学ぶとともに言語データの取扱い方を演習的に学習する。おおむね、「新しい言語学（18）」（ラジオ）で取り上げた方法論以前の言語学を概観する科目。 受講にあたっては、別途指定教材（図書）での自己学習を必須とする。 『言語学入門 これから始める人のための入門書』（佐久間淳一・加藤重広・町田健／研究社、2004年／¥1,980（税込）／単行本 162頁／978-4-327-40138-2）

科目名/主任講師名	コース/カテゴリ/単位数	メディア	概要
C言語基礎演習(' 20) 森本 容介(放送大学教授)	情報/学部 /1	OL	実際にプログラムを作りながら、C言語の文法を学ぶ。変数・型・演算などの概念、制御構造、関数を扱う。 ※ C言語の開発環境を自分で用意できることが履修の条件になります。環境構築の方法は、オンライン授業体験版 (https://online-open.uuj.ac.jp/) の「C言語基礎演習(' 20)」を参照してください。一般的なソフトウェアのインストール等と比較して、C言語の開発環境の構築は難しいため、用意できることを確認してから履修登録を行ってください。 ※ 本科目の学習は、テキストを読んでプログラムを作ることを繰り返します。映像による説明が中心の通常の科目とは異なりますので、オンライン授業体験版でご確認ください。
続・C言語基礎演習(' 23) 森本 容介(放送大学教授)	情報/学部 /1	OL	「C言語基礎演習(' 20)」では取り扱わなかった、ビットを対象とする演算、配列、ポインタ、文字列操作、構造体などについて解説する。テキストによる解説の後で実際にプログラムを作成する演習型の科目である。 ※ 講義は、「C言語基礎演習(' 20)」を履修済みであることを前提に進行します。 C言語の開発環境を自分で用意できることが履修の条件になります。ソースコードのコンパイルと実行ファイルの実行ができることを確認してから科目登録申請を行ってください。環境構築の方法は、オンライン授業体験版 (https://online-open.uuj.ac.jp/) の「C言語基礎演習(' 20)」(「続・C言語基礎演習(' 23)」ではありません。)を参照してください。本科目の学習は、テキストを読んでプログラムを作ることを繰り返します。映像による説明が中心の通常の科目とは異なりますので、オンライン授業体験版でご確認ください。
数理最適化法演習(' 20) 大西 仁(放送大学教授)	情報/学部 /1	OL	本科目では、決定問題を数理モデルとして定式化して、計算機で最適解を求める数理最適化法の講義と演習を行う。決定問題は、工学のみならず、日常生活、経営、行政等に遍く存在するため、数理最適化法は多様な領域に応用されている。数理最適化法の習得には、具体的な決定問題を実際に定式化して、最適解を計算してみることが有効であることから、計算機ソフトウェアを使用した演習を行う。 ※表計算ソフトウェアExcelを使用する。Excelの代わりにLibreOffice Calc、R、Pythonのいずれかでも受講可能であるが、履修登録に先立ち、オンライン授業体験版 (https://online-open.uuj.ac.jp/) の「数理最適化演習(' 20)」の指示に従い、インストールをしておくこと。
コンピュータビジョン(' 22) 一画像処理による情報抽出の技法 浅井 紀久夫(放送大学教授)	情報/学部 /2	OL	コンピュータビジョンの応用を紹介し、その中で使われる基本的技術を解説する。コンピュータに視覚を持たせるという究極の目標に対して、(1) 自己位置推定と地図構築、(2) 機械学習による画像認識という問題に焦点を絞り、これらを実現するための技法を説明する。画像からの3次元構造の復元および画像に写る物体の認識、これらを実現するためのコンピュータビジョンにおける基本的手法を扱う。その手法の一部を画像処理ライブラリを使ったプログラムで実行し、その動作を確認することでその手法の理解につなげる。
eラーニングの理論と実践(' 24) 青木 久美子(放送大学教授) 専門担当講師名：高橋 秀明(放送大学教授)、加藤 浩(放送大学教授)、辻 靖彦(放送大学准教授)、山田 恒夫(放送大学教授)、平岡 斉士(放送大学准教授)	情報学/大学院 /2	OL	コロナ禍で教育や研修のデジタルトランスフォーメーション(DX)が進み、今後eラーニングやオンライン教育はますます普及していくと考えられる。本科目では、eラーニングやオンライン教育を企画・設計・実施するにあたって重要であると考えられる様々な理論を説明するとともに、必要な技術的基礎知識や具体的実践例を、最新の動向を踏まえながら紹介し、今後のeラーニングやオンライン教育の方向性を展望する。
地球を読み解く(' 19) 大森 聡一(放送大学教授)、谷口 義明(放送大学特任教授)	自然環境科学/大学院 /2	OL	おもに地球の歴史に関わる宇宙地球科学のテーマをとりあげ、分野横断的な視点とそれを研究し解明する過程を含めて講義する。